



「がんばれ」～頑張っているあなたと私へのエール～ 園長 笛木 哲
年中組の担任が、「教室の中でみつけた会話です」と教えてくれました。ちょっぴり根気のいる制作活動を終えた女の子が「つかれた」とつぶやくと、それを聞いた男の子が「えらいね、がんばったね」と優しい言葉を彼女に届けていたのだそうです。そのやりとりを想像すると、心がじーんと温かくなりました。

朝の徒歩登園の子どもたちと挨拶をしていた時、年少さんのお母さんが「毎日のように『がんばれ』と声を掛けていましたが、今朝、息子に『もうぼくはがんばっているんだよ』と言われ、ハッとしました。毎日がんばって幼稚園に登園しているのに、『がんばれ』というのは息子の気持ちを理解していなかったのかもしれない。」とお話してくださいました。10年前の東日本大震災後、傷、悲しみ、苦しさといったことに、もう十分頑張っているのですから、「がんばれ」という言葉を使わないでくださいと言う声が広がりました。年少の子や東日本大震災で被災された方々の気持ちを思うと、決して安易に「がんばれ」といってはいけないのだと反省させられます。

今年の3月、フィギュアスケートの羽生結弦さんが、大震災で被災された方々にメッセージを発信しました。「何を言えばいいのか、伝えればいいのか分かりません。」という言葉から始まり、「幼稚な言葉でしか表現できないので、恥ずかしいのですが、本当に10年間お疲れ様でした。まだ癒えない傷も、街の傷も、心の傷も、痛む傷もあると思います。まだ頑張らなくちゃいけないこともあると思います。簡単には言えない言葉だとわかっています。言われなくても頑張らなくちゃいけないこともわかっています。でも、やっぱり言わせてください。頑張ってください。」と結ばれています。



冒頭の年中さんも、羽生さんも、「もっと頑張れ」と強く催促しているわけでも、相手を責めているわけでもなく、『私』も苦しみや悲しみ、辛さに向き合い乗り越えてきました。そして、これからも。私もあなたと同じです。だから、前を向いて共にがんばっていきましょう。」という、自分へのエールも含んでいるとしたら、この『がんばれ』という言葉は、幼稚園でもたくさん使っていきたいなと思います。「もうちょっとだけ勇気を出したいね。私も、あなたも。だから、一緒にがんばりましょう。」という気持ちが伝われば、きっと子どもは前に一歩足を踏み出してくれることでしょう。

本年度の保育の重点 『あいさつ』『片付け』『廊下歩行』

「幼稚園に来たとき、たくさんの子が笑顔であいさつをしてくれました。どの子もあいさつが上手で、あいさつを返していると、とっても嬉しい気持ちになりました。」と、年長児のお母さんからお褒めの言葉をいただきました。

預かり保育の職員から報告がありました。「最後まで片付けをしてくれました。」「自分が使った物でなくても進んで片付けをしてくれます。」「ブロックを全部外して片付けてくれるので、子どもたちが帰った後の消毒がとってもやりやすく助かります。」

歯科健診が終わった子から順番に教室に戻ります。毎年、誰もいないテラスを駆け足で戻る子が多いのは、一人の不安と教室で早く遊びたい気持ちの現れでしょう。歩いて戻る子どもの姿を見つけて数え始めたら、両手両足の指ではとっても足りません。

どの子もあいさつができ、片付け上手なわけではありません。テラスを走る子もたくさんいます。でも、少しずつできる子が増えています。



お知らせ

- お子さんの誕生月の「誕生会動画」(PC用・YouTubeで配信したもの)をご希望の方は、USB(名前を書いて)をお持ちください。ファイルをコピーしてお渡しします。
- ビアンカ先生と学ぶ「英語」の動画を2学期以降、YouTubeで配信します。

園児が輝く時

※HPで「笑顔の子どもたち」を紹介しています。よろしかったらご覧ください。



年少：幼稚園生活に慣れました大好きなお母さんと離れても泣かずに過ごせます。



年中：アサガオの種を植えたよ小さな種を小さな手で植えました。水やりは毎日の仕事。



年長：鼓笛の練習を開始 本年度は「きらきら星」「さんぽ」の2曲を運動会で披露します。



とねっこタイム(縦割り) 1年ぶりの活動は、年中、年長組の混合チームでの折り返しリレー。



あいさつ 「いつでも、どこでも、誰にでもあいさつができたらいいね。心が温かくなるよ。」



実習生の受け入れ 1学期は4名の実習生を受け入れています。子どもたちに一番近い存在がまぶしい。